

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500042		
法人名	株式会社ケアフル・ケア		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	西松浦郡有田町応法丙3902番地		
自己評価作成日	令和3年2月3日	評価結果市町村受理日	令和3年10月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	令和3年2月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設より10年が経ちましたが、施設理念・介護サービス理念は朝礼で欠かさず唱和を続けています。理念の中にあるように、「相手の立場になって考える」介護が提供出来るよう、職員の教育に力を入れています。今回、コロナの影響で面会や外出が制限され、施設全体の行事も中止となりました。ですが、ご利用者様が生活に飽きられないように、季節ごとの行事・お弁当形式での食事・お祝いメニューでお寿司をとったりしました。運営推進会議で報告をすると、「活気があって良いですね。」と喜ばれました。これからも地域の一員として、せせらぎが馴染み場所であるように、地域の方に認めて頂ける施設を目指して頑張りたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伝統産業の息づく場所に立地し、木々の緑、暖かい日差しにに囲まれ、穏やかな空気に包まれている。入居者、家族及び職員のその多くが町内からである。地域の行事や自宅を含めた近隣への外出支援に積極的な姿勢が窺える。ホームの倉庫の鍵を地元区長と共有し、地区の防災のための備蓄庫として活用している。地域での防災において役割を担い、地域での住民からは入居者に関して、気遣いの言葉がけがあるなど、地元根ざした事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	黒髪	龍門			黒髪	龍門	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護サービス理念・施設理念の唱和を朝礼で欠かさず続けています。	介護サービス理念・施設理念の唱和を朝礼で欠かさず続けています。	職員それぞれが、理念から目標を立てて業務に取り組んでいる。カンファレンスでも理念の実践について話し合い、新人教育でも用いられている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ対策を行いながら、地域の催し物へ見学へ行きました。また、慰問をして頂きました。(太鼓・老人クラブ・傾聴ボランティア)	コロナ対策を行いながら、地域の催し物へ見学へ行きました。また、慰問をして頂きました。(太鼓・老人クラブ・傾聴ボランティア)	地域のイベントや祭りを見に行ったり、伝統行事の「おくんち」では、参加団体がホームを訪れ踊りを披露した。地域の清掃活動にも職員を派遣している。傾聴ボランティアは、感染予防をした上で、毎月1回の訪問を継続して実施している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所の方が、施設に遊びに来られた際は、持病があり、食事や水分摂取が気になっており、その方にはお茶やお菓子を提供しゆっくり過ごして頂く時間を作った。担当医や担当ケアマネージャーとも連絡とるようにしました。	ご近所の方が、施設に遊びに来られた際は、持病があり、食事や水分摂取が気になっており、その方にはお茶やお菓子を提供しゆっくり過ごして頂く時間を作った。担当医や担当ケアマネージャーとも連絡とるようにしました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ対策や、その中での利用者様の生活・面会など細かく報告しました。行動制限がある中での、楽しみ方を助言をもらいながら実行しました。	コロナ対策や、その中での利用者様の生活・面会など細かく報告しました。行動制限がある中での、楽しみ方を助言をもらいながら実行しました。	感染予防のため、文書のみでの開催も含め定期的実施している。行事やおやつ作り等日々の活動、事故・ヒヤリハット報告書も含め、写真入りの資料を用いている。遠方の家族には郵送で連絡を取り合っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて、報告し意見を貰っていました。コロナ禍で、直面する問題が難しく相談しながら、解決するようになりました。	運営推進会議にて、報告し意見を貰っていました。コロナ禍で、直面する問題が難しく相談しながら、解決するようになりました。	困り事は町に相談できている。地域包括支援センターとは空き状況の問い合わせ・報告がなされている。町・包括からの研修の案内にも職員を派遣している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の戸締り以外は、常時自由に出入りが出来るようになっています。	夜間の戸締り以外は、常時自由に出入りが出来るようになっています。	玄関の施錠を含め、身体拘束は行っていない。外部研修、会議・カンファレンスで身体拘束について勉強している。職員同士で注意し合っ、言葉による行動抑制にならないよう配慮に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待委員会で話合った内容を全職員へ伝え虐待防止に努めています。	虐待委員会で話合った内容を全職員へ伝え虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などへ参加し、理解・活用できるように努めています。	研修などへ参加し、理解・活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、納得できるように努めております。また、何か疑問がある場合はその都度対応しております。	契約時に説明を行い、納得できるように努めております。また、何か疑問がある場合はその都度対応しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族様代表が参加され意見をもらってます。面会時やお電話で意見・要望など聞いています。	運営推進会議に家族様代表が参加され意見をもらってます。面会時やお電話で意見・要望など聞いています。	家族の面会時や電話、郵送により、報告や意見を聞く機会を設けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議、空いている時間を使い職員の意見を聞く機会を設けています。	全体会議、ユニット会議、空いている時間を使い職員の意見を聞く機会を設けています。グループライン活用し、業務連絡をしています。	管理者は日頃から職員の意見を聞くように努めており、法人全体やユニット会議で、定期的に職員からの意見を検討している。意見の少ない職員からも、SNSや、適時個別で聞き取りを行なっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社会保険労務士に依頼し、給与水準や仕事の出来栄えなど、振り返りもして頂きながら、やりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています	社会保険労務士に依頼し、給与水準や仕事の出来栄えなど、振り返りもして頂きながら、やりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍ではありましたが、研修参加してもらいました。	コロナ禍ではありましたが、研修参加してもらいました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	SNSを発信し、その中で情報交換しています。他施設の取り組みの中で、いいね！と思ったことを、取り入れています。	SNSを発信し、その中で情報交換しています。他施設の取り組みの中で、いいね！と思ったことを、取り入れています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面会時に、ご本人様の要望・希望など色々な事をお聞きして相談しながら安心して入所してもらえるように努めています。	初回面会時に、ご本人様の要望・希望など色々な事をお聞きして相談しながら安心して入所してもらえるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より、ご家族様に思い、要望などしっかりお聞きして本人様だけではなく家族様も支えられるように努めています	入所前より、ご家族様に思い、要望などしっかりお聞きして本人様だけではなく家族様も支えられるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、家族様など色々な事を総合的に検討し、本人様に今何が必要なのかを考えてサービスできるように努めています。	本人様、家族様など色々な事を総合的に検討し、本人様に今何が必要なのかを考えてサービスできるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会社の理念に沿った介護ができるように日頃から努めています。	会社の理念に沿った介護ができるように日頃から努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の若い頃だったり、入所前の生活などの情報を聞いて、何か施設での暮らしにヒントになるような事を、共に考え、実践し経過報告をしながら行っております。	ご本人様の若い頃だったり、入所前の生活などの情報を聞いて、何か施設での暮らしにヒントになるような事を、共に考え、実践し経過報告をしながら行っております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で、外出が難しく支援が行える状況ではありませんでした。	コロナ禍で、外出が難しく支援が行える状況ではありませんでした。	自宅の仏壇へのお参りやお墓参り、馴染みの美容室への外出を支援している。友人との交流も継続して行われている。コロナ禍以前は、地域のイベントや高齢者サロンに出かけていた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人様の代弁者となり、橋渡し役となり集団生活のストレスが軽減出来ればと思いながら、支援しています。利用者様が車椅子を押して下さることもありました。	ご本人様の代弁者となり、橋渡し役となり集団生活のストレスが軽減出来ればと思いながら、支援しています。利用者様が車椅子を押して下さることもありました。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	町内でお会いした時は、ご挨拶させていただいています。お電話にて、対応することもありました。	町内でお会いした時は、ご挨拶させていただいています。お電話にて、対応することもありました。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に支援を行い、お盆には自宅やお墓参りに行き、コロナ対策をしながら、ご自宅へ行き家族様と写真を撮ったりしました。ご本人様や家族様より、喜びの声がありました。	重度化に伴い、食事が入らない方へ家族様に依頼し、好物だった食事を作って持ってきて頂きました。	思いが伝えにくい人からは、仕草を見逃さず、一言ひとことに汲み取り、話し易い時間帯や場所を選んで傾聴している。聞き取った内容は記録し、活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをとり、詳しく聞きたい時は、家族様へ連絡をとり、ご本人様の言葉と照らし合わせを、その都度しております。新しい情報も合わせて、カンファレンスを行い、ケアの質の向上につとめています。	アセスメントをとり、詳しく聞きたい時は、家族様へ連絡をとり、ご本人様の言葉と照らし合わせを、その都度しております。新しい情報も合わせて、カンファレンスを行い、ケアの質の向上につとめています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別記録やケアプラン実行表に記入し、情報共有につとめています。	個別記録やケアプラン実行表に記入し、情報共有につとめています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやユニット会議にて、ご本人様や家族様からの意見を尊重し、作成に努めています。	課題についてユニット会議で話し合い、担当者が中心となり、家族様や担当医へ連絡・相談を行っています	スタッフ・管理者が、本人・家族・主治医の意見、日々の記録・評価をもとに、話し合い、定期的または必要時に現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	変化が見られた所は、赤で記入し経過を見るようにしています。療養日誌には、経過報告を記入を続け、ご家族様へ報告をしています。	変化が見られた所は、赤で記入し経過を見るようにしています。療養日誌には、経過報告を記入を続け、ご家族様へ報告をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族様に対する送迎をしています。また、手術の際は、職員は付き添いを行いました。ご希望があれば、出来る範囲なのか話し合いをし、その都度対応しています。	ご本人様の旦那様が亡くなられた時は、家族様の希望もあり、遠方へお連れし、最後のご挨拶を行うことができました。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所時に、馴染みのお店などお聞きし、特に美容室は「そこへ」と、希望ありましたがコロナの影響がありお連れするのが難しい状況でした。	入所時に、馴染みのお店などお聞きし、特に美容室は「そこへ」と、希望ありましたがコロナの影響がありお連れするのが難しい状況でした。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は継続しています。閉院に伴う変更ありましたが、ご家族様の希望を重視し、決定しました。	かかりつけ医は継続しています。閉院に伴う変更ありましたが、ご家族様の希望を重視し、決定しました。	以前からのかかりつけ医との関係は継続され、往診も行われており、夜間の対応も整備されている。受診の対応は、職員または家族が付き添っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調変化や気づきがあれば、看護スタッフへ報告や相談をしています。処置は、介護・看護スタッフ一緒に、経過をみるようにつとめています。	体調変化や気づきがあれば、看護スタッフへ報告や相談をしています。処置は、介護・看護スタッフ一緒に、経過をみるようにつとめています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室や、病棟看護師との連絡を定期的におこない、情報交換に努めています。コロナ対策で面会禁止のじょうきょうではありましたが、ご家族様からも状態をお聞きし、早期退院できるように努めました。	地域連携室や、病棟看護師との連絡を定期的におこない、情報交換に努めています。コロナ対策で面会禁止のじょうきょうではありましたが、ご家族様からも状態をお聞きし、早期退院できるように努めました。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について、ご家族様とご本人様へ入所されて信頼関係が出来てから、希望をお聞きするようにしています。その時を迎えた際は、確認を繰り返しておこない、支えて行けるように努めています。	重度化や終末期について、ご家族様とご本人様へ入所されて信頼関係が出来てから、希望をお聞きするようにしています。その時を迎えた際は、確認を繰り返しておこない、支えて行けるように努めています。	職員への研修を実施し、看取りを行っている。看取りについて同意書を作成し、繰り返し家族と意見交換に努め、本人や家族の意向を尊重した支援を行うよう心掛けている。看取り後は、業務の振り返りを施設内で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現場でその都度、指導している。	現場でその都度、指導している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防・避難訓練は1回行い、もう1回は3月にする予定しています。災害避難訓練は2回しています。地域の方の参加はコロナのため今回は見送ってもらっています。	消防・避難訓練は1回行い、もう1回は3月にする予定しています。災害避難訓練は2回しています。地域の方の参加はコロナのため今回は見送ってもらっています。	火災避難訓練では、連絡網・職員到着時間等、具体的な訓練を実施している。災害時は、地域の備蓄倉庫、物資輸送の防災拠点の役割も担う。台風被害が予想された時には職員が泊りがけで待機し、緊急時に備える体制が整備されている。	災害避難には多くの人出が要ることもあり、地域の消防団と連携し、組織的な防災対策が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を尊重した伝え方を心掛けています。言葉だったり、身振り手振り、筆談などで、周りの方への配慮もしながら対応しています。言葉遣いは、会議などで、虐待に繋がるにでと開設時より注意しています。	相手を尊重した伝え方を心掛けています。言葉だったり、身振り手振り、筆談などで、周りの方への配慮もしながら対応しています。言葉遣いは、会議などで、虐待に繋がるにでと開設時より注意しています。	入浴・トイレの際、異性から同性への職員が交代するなど羞恥心に配慮している。また、職員が大声で話さないよう心掛け、着替えが必要な場合には人目に触れない場所へ移動してもらう等、工夫している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	喜怒哀楽は表出できる環境作りをしています。抑圧しないよう、職員は態度や言葉遣いに気を付けています。自己決定は、お返事は待つ、誘導しない事を心掛けています。	喜怒哀楽は表出できる環境作りをしています。抑圧しないよう、職員は態度や言葉遣いに気を付けています。自己決定は、お返事は待つ、誘導しない事を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースを把握すると共に、サインをスタッフで共有し、生活を守ることに努めています。家族様の意見を聞きながら、その方の生活を支えるようにもしています。	ご本人様のペースを把握すると共に、サインをスタッフで共有し、生活を守ることに努めています。家族様の意見を聞きながら、その方の生活を支えるようにもしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性の方であれば口周りのうぶげそり、男性の方であればひげそりや眉毛のカットを支援したいです。マニキュアを楽しんでいただいたり、朝は服を選んでいただいたりしています。	起床時は、化粧水で肌の手入れをして頂いたり、その方の晴れの日には、お化粧品をしたり、家族様了解のもと、看取りの方への散髪を行いました。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日の時は、利用者様のリクエストメニューでお祝いしたり、お弁当形式にしたりと、楽しみを持って頂くことを目的としました。おやつ作りは、見学してもらい、お盆拭きを手伝ってもらっています。	おかずのつぎわけや、おやつ作りを一緒にを行いました。苦手な食べ物、替わりの物を提供しています。	もやしの髭取り等、野菜の下処理や味見をしてもらい、入居者と一緒に食事の準備を行っている。コロナ禍以前は、イベント等で家族も参加し外食に出かけていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の食事形態や、その時の身体の状態に合わせた提供をしています。ゼリーやアイス、果物などで工夫しています。	利用者様の食事形態や、その時の身体の状態に合わせた提供をしています。ゼリーやアイス、果物などで工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの言葉かけ、介助等を行っています。就寝前は、義歯を外して休んで頂くようにしています。	毎食後の口腔ケアの言葉かけ、介助等を行っています。就寝前は、義歯を外して休んで頂くようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表と排泄間隔を把握しながら、トイレを使用して頂くようにしています。	排泄チェック表と排泄間隔を把握しながら、トイレを使用して頂くようにしています。	状態に合わせて、ポータブルトイレ、おむつの使用もしているが、出来るだけ本人の能力に応じて、トイレを使用できるように支援している。おむつから綿パンツに変更できたこともある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬だけでなく、乳酸菌飲料・バナナや牛乳などを摂って頂くようにしています。また、運動として、廊下を歩いてもらっています。	薬だけでなく、乳酸菌飲料・バナナや牛乳などを摂って頂くようにしています。また、運動として、廊下を歩いてもらっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日、入浴できるように努めています。夕食後にも、言葉かけし入浴して頂いたこともあります。	毎日、入浴できるように努めています。夕食後にも、言葉かけし入浴して頂いたこともあります。	回数や時間帯等自由で、入居者の意向に沿った入浴を支援している。入浴に至らなかった時には、適時、足浴、手や爪洗い、就寝前の清拭で対応している。また、脱衣場の温度調整や柚子、菖蒲湯など快適で楽しめる工夫に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の様子や状況に合わせて、休息して頂いたり、夜間は、軽食提供にて支援しています。	ご本人様の好みに合わせた室温・照明の調整を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。変更があった時は、個別記録に赤で記入をしたり、薬ケースに注意書きをし、確認しやすいようにしています。	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。変更があった時は、個別記録に赤で記入をしたり、薬ケースに注意書きをし、確認しやすいようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合せた作業を行なっています。コロナで外出があまりできなかったため、本人様希望の物をスタッフが代行したりして個別支援行っています。	個人個人に合せた作業等行っています。またコロナでしたが、状況をみながら家族様とも連携しながらお盆の際自宅までお連れしてお参りしてもらっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナのため車中内まででしたがドライブをその時の状況に合わせて行っています。	コロナのため、車中で個別ドライブ支援行いました。	町内のイベント見学や、天候がよい時のドライブ等を実施し、日常的な外出を支援している。自宅の仏壇や墓地へのお参りも、職員が同行し実施している。コロナ禍以前は、日帰りではあるが、家族も参加して、温泉宿のお湯を楽しんでいた。	

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本はお預かりしていませんが、希望がある際は本人・家族様としっかり相談しながら金銭の所持を対応するようにしています。施設預かりとし、家族様来所時、残金確認して頂いています。	基本はお預かりしていませんが、希望がある際は本人・家族様としっかり相談しながら金銭の所持を対応するようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望に応じて、電話や手紙、贈り物をしています。スタッフが代行し、代弁したりもしています。面会制限があったため、お電話で状態報告しています。	定期的にスタッフが電話して代わったり、遠方の兄弟様に写真や手紙を送ったりしています。面会制限があったため、お電話で状態報告しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに掲示物貼り変えたり、お花を飾ったりして気分転換をしております。	一人で過ごすのが好きな方、皆で過ごすのが好きな方、寂しさを感じやすい方等、状態に合わせてその時々ベストになるようテーブルや椅子の配置を変え安心出来る空間作りをしています。	共有空間は、入居者・職員の手作りによる作品で彩られている。写真も使い、日々様子が分かる工夫も施されている。居住空間の採光や、使いやすいようトイレの照明に配慮し、足音やドアの開閉音など不要な物音がしないよう職員の配慮がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・廊下などに椅子・ソファを配置してどこにでも座れるようにしております。	気の合う方など判断しながら利用者様が不快にならないように心がけその時々で過ごして頂く場所を整えています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われていた物・家具はなるべく使用しております。また、本人様・スタッフと相談しながら居室配置を決めております。	ご自宅より、香木をお持ち頂き少しでも、ご本人様の気持ちが落ち着けるようにさせていただきました。反応を、ご家族様へお伝えすると喜んで頂く事ができました。	安全であれば、馴染みの家具等、居室への持ち込みは自由である。自宅での様子を参考に、入居者、家族と職員が相談して居室内での配置を考え、居心地の良い居室空間づくりが行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり・椅子など使用しやすいようにしております。トイレなど目印をつけ分かりやすいようにしております	目的地までの導線に危険が無い様、物を置かない。また通りの壁にポスターや色彩の良い移動でも楽しめるよう工夫しています。		